

4.経皮ガスモニタ

- 1 患者の皮膚表面にリング型の両面接着テープを用いてセンサを貼り付けるのみで、経皮的に、tcPCO₂ 値を表示し、かつ連続測定ができること。
- 2 tcpCO₂ 及び消費電力をディスプレイ表示できること。
- 3 アラーム発生の状態が瞬時に確認できるモニタ表示ランプが内蔵されていること。
- 4 tcpCO の測定範囲は 0～200mmHg を満たすこと。
- 5 キャリブレーションは本体内蔵のガスボンベ 1 本で行うことが可能であること。
- 6 モニター本体でデータの記録保存が可能なこと。
- 7 内蔵バッテリーにより、電源のない環境でもモニターできること。
- 8 モニター画面はタッチパネルにより操作できること。
- 9 本体機器からのデータは USB から簡便に取り出しが可能なこと。
- 10 生体情報モニターに接続でき、ディスプレイに表示され管理可能なこと。
- 11 センサーの患者への装着方法は、患者状況に応じて両面テープ型・ローテーションできる装着リング等の選択ができること。
- 12 測定中に行った操作を記録する機能があること。
- 13 患者への電極装着時間をあらかじめ設定でき、設定装着時間に到達すると自動的に加温を中止する機能があること。
- 14 患者への電極装着時間終了後、キャリブレーションをしなくても装着時間をリセットして測定再開する機能を有していること。
- 15 正確なモニタリングのため、センサー温度の変更後にキャリブレーションを行う機能があること。
- 16 センサー用メンブランは化学的腐食に強い金属によってカバーされており、院内感染防止の為アルコール綿で清拭ができること。
- 17 機器の搬入、据付け、調整一式を含むこと。